

第3次千葉県住生活基本計画「観測・実況指標」、「意識・意向指標」について

第3次千葉県住生活基本計画を推進するにあたり、関連して把握していくべき指標として、以下の2種の指標を参考資料として整理します。（こちらの指標については、原則として目標値を設定しません。）

○観測・実況指標：①価格に関する指標等、直ちには目標足り得ないものの、行政が市場の歪みや問題の発生を観測し、要因の分析や対応策の検討に資するものとして必要となる指標、及び、②単に行政が住宅市場の状況などを把握するうえで重要な指標をいいます。

○意識・意向指標：国民の住生活の総体や個別課題に対する評価（満足度等）やニーズ（重視度、意向等）を表す指標のことをいいます。

○：観測・実況指標、●：意識・意向指標

目標1 若年・子育て世帯、高齢者等が安心して暮らせる豊かな地域社会の実現	
●	敷地やまわりのバリアフリー化の状況に対する満足度（「満足」＋「まあ満足」の割合）（H25：44.7%）
○	バリアフリーリフォームの実施戸数（持家におけるバリアフリーリフォーム）（H25：188千戸）
○	高齢者（65歳以上の者）の居住する住宅の高度のバリアフリー化率（国観測実況指標）（H25：9.9%）
○	共同住宅のうち、道路から各戸の玄関までの車いす・ベビーカーで通行可能な住宅ストックの比率（国観測実況指標）（H25：18.5%）
○	建替え等が行われる公的賃貸住宅団地（100戸以上）における、高齢者世帯、障害者世帯、子育て世帯の支援に資する施設の併設率
○	都市再生機構団地（おおむね1,000戸以上の団地が対象）の地域の医療福祉拠点化（H27：0団地）
目標2 住宅セーフティネットの確保	
○	応急仮設住宅建設候補地の確保（H26：830箇所 47,078戸）
目標3 次世代にも承継される良質な住宅の形成と空き家の利活用等の推進	
○	新築住宅における住宅性能表示の実施率（H26：25.4%）
○	賃貸・売却用等以外の「その他空き家」数（H25：134千戸）
目標4 多様な居住ニーズに応じた住宅市場の環境整備	
○	滅失住宅の平均築後年数（国観測実況指標）（H25：30.2年）
○	既存住宅流通量に占める既存住宅瑕疵担保保険に加入した住宅の割合（国成果指標）（H25：6.1%）
目標5 良好な居住環境の形成	
○	自主防災組織のカバー率（県総合計画・総合戦略）（H26：58.8%）
●	火災・地震・水害などに対する安全への満足率（「満足」＋「まあ満足」の割合）（H25：54.9%）
効果的な施策の展開	
○	市町村等が参加する、県主催の協議会等の開催数（H27：6回）